



キク編

病害虫注意報 2023年3月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

白さび病に要注意！

病害虫にとって適温になりやすいこの時期は予防的な農薬散布を心がけましょう。



症状

- ▶ 葉に白い隆起した斑点が発生。
- ▶ 茎、葉柄、花梗、ガクに発生する場合もある

多発条件

- ▶ 15～20℃の気温。
- ▶ 多湿条件（湿度90%以上）や葉の結露。
- ▶ 降水量が多く、比較的冷涼な時期。
- ▶ 肥料不足、窒素過多。

対策

- ▶ 循環扇によりハウス内の温度・湿度ムラを減らす。
- ▶ 予防的な薬剤散布
- ▶ 排水不良圃場では団粒化資材を用いるなど排水を良好にする。
- ▶ 発病株は伝染源になるため、抜き取り、焼却もしくは土中深くに埋める。

地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合がありますためご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

時期	RAC	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数
定植時	P02	白さび病	予 inochioキクツチャ粒剤	6～9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病	予 ジマンダイセンフロアブル	500～800倍	—	8回
	20D	ナミダニ	マイトコーネフロアブル	1,000倍	開花前まで	1回
消灯時	11	白さび病	予・治 inochioオペラフラワー乳剤	2,000倍	発病初期	3回
	23	アブラムシ類 ハダニ類・アザミウマ類	inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
発蕾時	39	白さび病 アブラムシ類 等	予 ピリカット乳剤	1,000倍	発病初期 発生初期	6回
	6	アザミウマ類・ハダニ類	アグリメック※	500倍	発生初期	5回
破蕾時	7	白さび病	予・治 カナメフロアブル	4,000～8,000倍	発病初期	3回
	4C	アブラムシ類 アザミウマ類	トランスフォームフロアブル	1,000～2,000倍 (アブラムシ類:2,000倍)	発生初期	3回

※花き類・観葉植物登録

海藻サンバ

育苗期・生育期:1,000倍

- ▶ コリンによる **光合成促進**と**発根促進**
- ▶ 海藻エキスによる**発根促進**
- ▶ 転流を促進



肥料登録番号
生第101491号

ネハルサン

定植時に



4袋 (60kg) /10a
元肥施用時同時処理

定植 2
か月
後
ネハルサン
効果は2か月

白酢
月/1～2回

白酢

生育期に



リン酸過剰圃場におすすめ体系

土に吸着されたリン酸を有機酸の効果で引き離し根に吸収されやすい状態にします。

灌注時：100～300倍
散布時：300～1,000倍

※強酸性のため100倍より濃く希釈しないように注意